

スポ第103-2号

令和5年6月30日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ  
クラブライセンスマネージャー 大城 亨太 様

鹿児島市長 下 鶴 隆 央



### 多機能複合型スタジアムの整備に係る意向表明書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、かねてから、本市のスポーツ交流・振興の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本市では、人々を魅了し、連帯感を高め、交流人口の増につながるなど、多様な波及効果を生み出すスポーツを活かしたまちづくりに取り組む中で、本市の将来像と長期的なまちづくりの基本目標を示した第六次鹿児島市総合計画にスタジアム整備を位置付け、継続的に検討を進めているところです。

これまでの経過としましては、平成29年に本市、県、関係団体等で組織するサッカー等スタジアム整備検討協議会を設置し、平成30年に同協議会からスタジアムの必要性や都心部への立地が望ましいとされる提言書が本市に提出され、平成31年には、同協議会において、候補地の絞り込みがなされるとともに、本市と県との間で、スタジアム整備の実現に向けて、オール鹿児島での取組を進めていくことで合意をしたところです。

また、令和4年度に、来場者数や施設整備費、経済波及効果等の試算、配置案の検討等の調査を行うとともに、複数の候補地が鹿児島港本港区エリア内に位置していることから、県において設置された鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会においても検討を行っておりますが、様々な課題があったことから、候補地を整理の上、先般、同エリア内の北ふ頭を新たな候補地として検討を始めたところであり、各面から意見を聴取する協議会の設置も予定しております。

同エリアは、中心市街地に近く、利便性も高いことから、貴リーグが推奨する「まちなかスタジアム」を体現できるとともに、エンターテインメント空間として、また、観光交流拠点として、スタジアムを整備したいと考えており、これまでも中心市街地における整備を前提としてきていることから、本市としては、今後も中心市街地の核となる施設として検討を進めてまいりたいと考えております。

本市をホームタウンとする鹿児島ユナイテッドFCは、J3リーグの中でもトップクラスの観客動員数を誇り、多くの市民から愛され、大きな夢と感動を与えている存在であり、県を含むオール鹿児島の体制で取組を進めてまいります。

本市としましても、引き続き、スタジアム整備に全力を尽くしてまいりますので、クラブライセンスの判定に当たりましては、以上の取組をご勘案の上、ご高配賜りますようお願い申し上げます。